

市民一人ひとりが主役の時代をつくる延岡市のスマートシティ推進事業

活用技術： AI、ビッグデータ、自動運転、キャッシュレス、SIP

目指す
将来像

子どもから大人まで一人ひとりの個性や能力を大切にしながら「製造業のまちならではの学び」を推進し、市民の「自地域肯定感」を育む安心・安全で、かつ利便性の高い社会をつくり、我が国のお家芸である製造業を中心に、市民が主役のまちを目指す。

解決すべき
課題

高い質の教育を担保できない地方都市は、単身赴任を選択されやすく、高度人材の確保が難しい。公共交通の利便性を高めていかなければ、運転免許の返納が難しい。持続可能な地域づくりのため市民がより積極的にまちづくりに参加する仕組みが必要。

■実装を目指す主な事業内容

事業1： 知力・体力・人間力を育む「世界一の子育て・教育のまち延岡」事業

活用技術	事業概要
AI ビッグデータ	<ul style="list-style-type: none"> 「延岡子ども未来創造機構」を設立し、学びの「ログ」化等により児童生徒一人ひとりの到達度に合った学習ができる環境を整備 児童生徒のバイタルデータから体調の変化や心の不調などを把握し、学校における不登校児童の兆候を把握（医療×教育データ連携）

事業2： 行動パターン分析による交通網の最適化事業（マイカー卒業社会の実現）及び「逃げ遅れゼロ」の避難対策構築事業

活用技術	事業概要
AI ビッグデータ 自動運転	<ul style="list-style-type: none"> 行動パターン分析によるバス路線・時刻表・停留所等の最適化。 シェアサイクル、デマンド交通、自動運転等の組合せによる交通ネットワークの構築により、バスでカバーできないニーズに対応

事業3： 行動変容・行動誘発に寄与する地域ポイント活用サービス事業

活用技術	事業概要
キャッシュレス	<ul style="list-style-type: none"> 健康に寄与する活動、ボランティア活動、SDGsに貢献する行動、健康づくりに関する活動等に対してポイントを付与しながら、行政の負担を軽減しつつ、市民の力で社会をより良くするためのキャッシュレスプラットフォームを構築



図1：延岡子ども未来創造機構



図2：行動パターン取得アプリ



図3：健康長寿ポイントアプリ